

五 第二中隊ノ一箇小隊ハ浦崎地区ノ消火ニ

自スヘシ

六 系ハ謝花高思ニ在リ

第一大隊 野崎 大尉

下達法 命令受領者署名ヲ依リテ後印刷部
配布先 各中隊
報告先 既隊本部

第一大隊命令

昭和二〇二二〇

- 一 約箇所圍弱敵伊江島本部北ニ立陸シ全圍シアルモ、如ク國頭堂洞哨敵輸送船ヲシテモ、五隻ヲ發見セリ
- 二 大隊ハ直務既備其ノ戦斗ヲ準備セシトス
- 三 各隊ハ新既備其ノ陣地ヲ轉移シ明瞭視察對シ得、如ク取敢テ掩蔽部ヲ本夜暗ヲ利用シ掃蕩スヘシ
- 四 石井小隊一箇分隊ハ直ニ浦崎前進陣地ニ至リ砲臺監視ヲ強化シト共ニ敵言武ヲ嚴テラシムヘシ
- 五 第一中隊及第三中隊ハ直ニ△嶺高地ヨリ屋ビ々索東北側二〇〇米高地ニ亘ル間ニ所要ノ兵力ヲ差出シ敵

式ヲ嚴テラシムヘシ
 六 南瀨及具志堅今泊地ヲ任民マシテ
 對空對海ニ備
 式ヲ嚴テラシムヘシ
 七 予ハ沿岸ノ状況ヲ觀察シタル後
 謝花馬場在リニ備
 備ト共ニ、視天隊戰斗場俾所ニ至ル

大隊長 野崎 入 尉

下邊法 會受領ヨリ其心邊筆迄
 既テモ 各 甲 隊
 報告先 飛隊本部

一大作命 第三一號

第一大隊命令

昭和一二・〇五〇

- 一 我カ第二艦隊ハ昨夜ヨリ南洋ヲ海威ニ於テ敵機動部隊ト接觸シ
- 二 三〇我カ海軍航空隊ハ敵機ト交戦アリテ敵機動部隊ハ北上本島ニ來龍之ル事概ク確実ナリ
- 三 〇四三〇南洋諸島全威ニ空襲ヲ報テ發令セララル
- 四 各隊速クニ新配備ニ基ク工事ノ促進ヲ図ルト共ニ對空對海對空戰備ニ空襲ニ際シテハ直ニ對空戰備

五、
二就^レ得^ル如^ク準備^スヘシ
予ハ謝^意書^ヲ大塚^子校^ニ在^リテ
務^ヲ轉^ス

大隊長 野崎大尉

下達法
電布
報告
各中隊
既隊本部
隊本部

一大作命

第一八號命令

第一二二號

一、
二十日
一、
二、
三、
四、

大隊工事全力盡^シテ迅速^ニ完成^ス

各隊對空監視哨撤收^シ夫^レ沖北備^置ス

予ハ謝^意書^ヲ大塚^子校^ニ在^リテ

大隊長 野崎大尉

下達法
電布
報告
既隊本部
隊本部



1

五木中隊
火

第...

...

...

一大作命第三十三號

第一大隊命令

謝 〇二五二五三〇

一 戦隊ハ航空ヲ戦ヲ容易ナラシムルタメ伊

江島飛行場基地ヲ確保シ第一ノ場合ソノ

補修ニ遺憾ナカラシム

二 大隊ハ速カニ伊江島ニ移駐シ昼夜ヲ間ハ

ス飛行隊ニ協力シ拵ニ飛行場ノ補修ニ些

カノ遺ナカラシメントス

三 各隊ハ大ルベク速カニ渡久地阜頭ニ前進



シ人員資糧掛ノ区處ニ依リ伊江島ニ前進
スヘシ

四 兵岩彈藥糧秣資糧ハ遂次伊江島ニ追送ス
ヘシ 之ガタメ各隊ヨリ下士官一兵五ヲ
残置シ之ガ監視並ニ追送ニ任ゼシムヘシ
五 予ハ一七〇〇渡久地弁伊江島ニ到ル後定

第一大隊長 野崎大尉

下達法 命令受領者ニ要旨ヲ伝ヘタル後印刷既午
報告ス 聯隊本部

一 天作命第三十四號

第一大隊命令

一〇一九・二〇〇〇
伊江島

- 一 聯隊ハ旅団ノ命令ニ基キ旧態勢ヲニ復歸ス
- 二 大隊ハ速カニ旧態勢ニ復歸セシトス
本部各中隊ハ兵岩 彈藥 糧秣 資糧 必具 兵ト共
ニ二〇日ヲ降 遂次 旧態勢ニ復歸スヘシ
- 三 各隊ハ先鋒者ヲ左ノ如ク差出シ大隊副官ノ
指揮ニヨリ本十九日一四〇〇伊江島弁旧態
勢ニ先行セシムヘシ

左

記

各隊下工一 完 五

四 前項先鋒者ハ二〇日以降逐次ニ渡久地島十頭ニ到着スル兵器彈藥糧秣資材ヲ直々ニ各隊ノ集積個所ニ運搬スベシ
五 予ハ二〇日伊江島ヲ登リ謝花ニ到ル

下違法 命令受領者ニ要旨ヲ伝ヘ後印刷配布
既印名 各半隊
報告先 飛隊本部

第一大隊命令

謝花 二〇日

- 一 旅團ハ守備計画中崩北両地ニ隊ヲ戰斗態
態ヲ一部変更ス
- 二 北地ニ隊ニ興ヘラレタル新ニタル任務
ハ既隊作命第六三號ニ依ル
- 三 大隊ハ滿名附近ニ肉攻班ヲ準備シ敵戦車
ノ突進ニ備ヘントス
- 四 第二中隊ハ所要ニ應ジ前記肉攻ヲ実施シ
得ル如ク陣地ヲ構築スヘシ
- 五 予ハ謝花国民學校ニ在リ

第一大隊長 野崎 大尉

下違法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシメタル後印刷配布
既印名 各隊本部

昭和十九年十月十日

戰鬥詳報

獨立混成第十五聯隊第一大隊



詳

戰局前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
十月八日左ノ脱隊命令ヲ受領ス

左

記

獨混十五作命第五一號

北地ニ隊命令

一〇・八・一一〇〇
波スス 地

一 マリアナ方面敵機動部隊來襲ノ公算アリ
十月八日一〇〇西南諸島全地ニ對シ内號戰
備下令セラル

二 地ニ隊ハ對空並海上警戒ヲ嚴ニスルト共ニ對空
戰備ヲ強化セントス

三 各隊ハ對空海上警戒ヲ嚴ニシ一部ノ對空
射擊部隊ヲ戰斗配置ニ就カシメ迅速ニ
掩蔽下ニ退避シ得ルノ準備ヲナスベシ

四 各隊ハ速ニ配備状況並ニ處置ノ概要ヲ
電話ニ依リ報告スベシ

北地ニ隊長 美田大近

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシメ後印刷交付

配布先 各守備隊

報告通報先 44⁴³⁵ 船舶工兵第六隊 平山隊 兵站支部

國頭地区隊 南地区隊 伊江島地区隊

大隊ハ右命令ニ基キ對空並ニ對海上警戒ヲ
嚴テラシムルト共ニ地方住民ヲモ併セ指導
シ備瀬新里具志堅附近七箇所ニ監視哨ヲ設置
對空對海上ニ警戒ヲ強化シ併セテ新配備ニヨリ陣
地附近ニ對空射撃部隊ヲ準備見敵隊ヲ期シテ
待機セシム

一 新開關ニ影響ヲ及ボシタ見敵隊並ニ住民ノ状況
晴平穩ニシテ風波ナク海上機動ニ適シ謝花附近ニ空ニ相當濃度

ノ白雲ヲ見敵機ヲ侵入容易ナルト日陽ヲ月夜ニテ 陣下大敵
未敵戦法トハ我射撃ヲ阻害セル事甚大アリ

二 住民ハ一般ニ無和ニシテ見敵進ニシテ動揺シ易キ民情

ニ在リ當初待避スルノ念ヲ没却シ口々茫然自失ニシテ傍觀
スルノ状態ニ在リシガ被害状況及流言ヨリ動揺激シク鋪

崎附近ノ火災ニ際シテハ殆トソノ消火ニ協力スルモノナク單ニ警戒
隊中五六名ノ出勤ヲ阻ケルノミニシテ他ハ青年壯年ニシテ
避難スルヲ見ルハ將來教育ノ要アリ

三 彼我兵力 壯衣備 素素質 戦法

一 敵ノ概要 (攻撃企圖)

敵ハ艦載爆撃機カーナスヘルターバー約三十機ヲ
以テ主トシテ船舶港灣施設及飛行場並ニノ附近

ノ軍用施設ヲ爆撃セリ

2. 敵機裝備

使用爆撃彈 五〇発——二五〇發程度

使用燒夷彈 一五發——三〇發程度

機銃 彈 二二七粒——二〇粒程度

3. 素 質

我が航空隊、邀撃ナキト地上對空兵器ノ微弱ト相俟テ相當敢騰活潑ナル急降下爆撃ヲ敢行シテ、技術ハ輕視ヲ許セザルモ使用爆彈、約四分ノ一ハ不發ニシテ粗制濫造ノ感アリ

4. 戦 法

敵ハ彈藥ノミナラズ相當敢騰燒夷彈ヲ投下シ、火災及傳單ヲ散布ニ従ルル地方民ハ、覺乱ヲ企圖シテシアルモノヲ知シ

由來番砲撃ナリ敵ノ攻撃ハ小舟及單艇ノ住民ニ對シテモ銃撃ヲ加フ

戦闘後ニ於ケル波我形勢ガ概要

一五三〇 敵機漸ク我ガ上空ヨリ去ル

二三〇〇 一大作命第三〇號(左記)下達シ各

中隊ヲシテ新配備ニ基テ陣地ニ転移シ

砲爆撃ニ抗シ得ル如ク掩蔽部ヲ構築セ

シム

左記

一大作命第三〇號

第一大隊命令

謝 〇、一〇、三〇〇

一、約一箇師團弱、敵ハ伊江島本部地区ニ降ヲ企圖シアルモノノ如ク、國頭監視哨ハ敵輸送船ヲシキモノ五隻發見セリ

- 一 大隊ハ直ニ新配備ニ基ク戰鬥ヲ準備セントス
- 二 各隊ハ新配備ニ基ク陣地ニ轉移シ明朝ノ夜爆撃ニ對シ得ル如ク取敢テ掩蔽部ヲ本夜暗ヲ利用シ構築スヘシ
- 三 石井小隊一箇分隊ハ直ニ備瀬前進陣地ニ至リ海上監視ヲ強化スルト共ニ警戒ヲ嚴テラシムヘシ
- 四 第一中隊及第二中隊ハ直ニ△△高地ヨリ屋比久原東北側ニ〇〇米高地ニ亘ル間ニ所要ノ兵力ヲ左中山シ警戒ヲ嚴テラシムヘシ
- 五 備瀬及今泊ノ地方任民ヲシテ對空對海上ノ警戒ヲ嚴テラシムヘシ
- 六 予ハ沿岸ノ狀況ヲ觀察シタル後謝花高地ニ在リ乙武備ト共ニ△△ノ隊戰鬪指揮所ニ至ル

大隊長 野崎 入 尉

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシメ後印刷配布
 配布先 各 中 隊
 報告先 既 隊 本部

二三三〇 空襲被害報解除ナルニ至ルモ對空對海上警戒ヲ至ニ嚴テラシム
 尚ヲ警戒隊團員郷軍ノ一部青年團員ヲ指揮シ沿岸警戒備ニ當ラシメ主力ハ陣地内ニ在リテ夜ヲ徹ス

被害状況
 浦崎附近 (煙夷彈投下約三千五百發内不發一〇) 民家四全燒(煙夷彈ニ依ル火災)
 豊原川附近 (爆彈一〇發投下不發一)

小澤般一、重破及銃患ノ外人員

其他損害ナシ

謝花附近

銃患ヲ受ケルニ被害ナシ

彈藥射耗別表、如シ

其他將來ノ参考

1. 今次對空戰鬥ノ結果ニ鑑ミ、海底島ニ高射砲設置、要アリトモ思料ス
2. 敵爆撃狀況ヨリ田心考スルニ、現在構築シタル陣地ニ對シ、敵ハ偽陣地ト判断シタルモノ、如ク現在ノ真陣地及偽陣地中間ノ稜線地帯ヲ陣地ト誤リテ爆撃シタルモノ、如シ

3.

住民ニ對スル空襲觀念及精神教育ニ関シテハ、今ヲ次空襲下狀態ヨリ鑑ミ、層ノ徹底普及ノ要アリ。空襲ニ際スル非協力及狼狽アリハ國防ノ心ハ喪失セルモノナリ

4.

空襲下各隊連絡ニ関シテハ、迅速確實ヲ目途トシ、通信網ノ強化ヲ要望スルト共ニ通信杜絶セル場合ヲ考慮シ、自動車兼馬ノ準備又切実ナリ

- 一〇〇米地差、石平少尉、報告ニ依リ、火災、夕ノ渡、地街道交通杜絶
- 一三〇 第一隊、渡々地到着、岡澤大尉ニ連絡、直ニ第一隊全力ヲ以テ、陣中撤出ニ協力スル
- 一二〇 第二隊ハ、隊中一部ヲ、陣中、伊野波、北ノ高地ニ、今散配置ス
- 一一〇 第三隊ハ、略シ、種火、已ク、渡々地ヲ引揚テ、前記對空戦ニ配備スル
- 一〇〇 第四隊、主力ハ、大空原、陣地ヲ、跡、北高地ニ、轉去、大隊本部ハ、跡、北高地、對テ、指揮所ヲ、設テ、各隊ハ、陣中配備ニ、基テ、對空射撃ヲ、準備完了
- 一五〇 敵機漸ク、我々上空ヲ去ル

戰局狀況

昭和十八年一月一日(大體日)
早志里東南側高地

一〇二 頃突然敵機數十機我々本部地蓋ニ飛入、中隊ハ直ニ第一、第三、第四隊ヲ以テ、早志里西南側高地ニ、敵機迎撃、態勢力ヲ、一部ヲ以テ、北山城駐屯、高地ニ在リテ、對空監視ニ、對海上監視ニ、任セシム、配備完了

同時、敵機、我々上空ニ飛來シ、敵機ハ、殆ド、半、敵機、我々上空ニ、同時ニ、我々中隊、配備完了、如シ、八〇、敵機、在リ、我々、敵機、南、我々、現態、逐次、且、早志里、東南側、高地、轉位、九四五、敵機、大機、高度、約、三百、速度、約、四百、我々、上空ニ、飛來、直ニ、全力ヲ、以テ、之、應戰ス

戰鬪詳報第一号附表

自十月十日
至全月全日

第一大隊死傷表
一九一五年一月一日
製

隊	帝三		大隊本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊	戰鬪參加 數	傷 數	生死不明
	戰鬪參加 數	傷 數								
第一大隊	1	17	6	125	126	123	129			
第二大隊										
第三大隊										
第四大隊										
第五大隊										



一三三三
二二二二
三三三三
四四四四
五五五五
六六六六
七七八八
九九九九
十

本隊關參加將校氏名

大隊長
附

陸軍大尉 野崎直彦
陸軍大尉 御子神三代次
少尉 水野清治

主計中尉 高木員三郎
軍醫中尉 松尾弘

第一中隊長

中尉 小野寺英雄
少尉 小松旭

少尉 園田静夫
少尉 山崎賢一

第二中隊長

中尉 松村孝一
少尉 菅原崇

考 備	計	第一隊 向心隊	第二隊	第三隊
	1095	0	0	555
	161	161		